

認知症の人と家族への援助をすすめる
第 30 回 全国 研究 集会 ・ 開催 要 綱

名称 認知症の人と家族への援助をすすめる第 30 回全国研究集会
日時 2014 年 11 月 2 日(日) 9:30～16:00
場所 青森市民ホール(青森県青森市柳川 1 丁目 2 番 14 号)
主催 公益社団法人 認知症の人と家族の会 (担当＝青森県支部)
テーマ 「生かされる」から「生きる」へ
～本人・家族が尊厳をもって生きられる時代へ～
趣旨 1980 年に認知症の人と家族の会が発足して以来、私達は認知症になっても安心して暮らせる社会を目指して活動してきました。
長寿国日本の国民病ともいえる認知症は、その予備軍を含めると 65 歳以上の 4 人に 1 人といわれるほど増加しています。
何の支援もなかった 30 年前に比べれば、格段の進歩はあるものの、急速に進む高齢化の波のなか、認知症の人と家族が安心して暮らせる社会にはなりきれていないのが現状です。
今回、第 30 回となる記念大会を青森の地で開催するにあたり、これまでの会の歴史、日本の認知症介護の変遷を踏まえ、超高齢社会における認知症の人と介護家族の支援を再考することを目的に本大会を開催いたします。

内容 講演、事例発表、シンポジウム、展示

- 講演 演題：「若年性認知症の人と家族とともに歩んで～神経内科医として～」
講師：東海林 幹夫氏 弘前大学大学院医学研究科 脳神経内科学講座教授
- 事例発表
事例発表 公募により選定 口述発表
- シンポジウム
テーマ「若年性認知症の人を地域で支える」
シンポジスト予定 厚生労働省、介護支援専門員、地域包括支援センター、介護家族
- 展示
 - 全研 30 回の歴史
 - 青森県支部の取り組み
 - 「家族の会」各支部の取り組み
 - 認知症ほっと三行レター
 - 介護機器紹介（ブース出展）

参加費 2,000 円（資料代）

後援（依頼予定）

厚生労働省 青森県 青森市 全国社会福祉協議会 中央共同募金会 日本医師会
日本看護協会 全国老人保健施設協会 全国老人福祉施設協議会 全国介護事業者協議会
日本認知症グループホーム協会 宅老所・グループホーム全国ネットワーク
日本興亜福祉財団 高齢社会をよくする女性の会 他

問い合わせ先

公益社団法人 認知症の人と家族の会 (担当：櫻井・小川)
〒602-8143 京都市上京区堀川通丸太町下る京都社会福祉会館 2 階
TEL (075) 811-8195 FAX (075) 811-8188 Email : office@alzheimer.or.jp
青森県支部 (担当：秋田谷・石戸)
〒031-0841 八戸市鮫町字居合 1-3 TEL 0178-35-0930 FAX 0178-34-0651